

4

たばこ

目標

目標 1 成人の喫煙率を下げる

目標 2 未成年者の喫煙をなくす

目標 3 妊娠中の喫煙をなくす

目標 4 健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う施設を増やす

指標

		現 状	目 標
指標 1	成人の喫煙率	男 性	19.4%
		女 性	
		全 体	
指標2-1	喫煙する未成年者の割合	男 性	0%
		女 性	
指標2-2	妊娠中に喫煙する人の割合	4.7%※2	0%
指標 3	建物内全面禁煙実施施設数	2,321※3	5,000

※1 「健康に関する市民アンケート」(平成 23 年度)より

※2 「子育てに関するアンケート」(平成 23 年度)より

※3 事業実績(平成 23 年度末現在)より

市民のとりくみ

□ もっと知ろう!たばこの害

喫煙は、がん、循環器疾患、呼吸器疾患、糖尿病、周産期の異常等を引き起こすことが科学的知見により明らかになっています。また、他人のたばこの煙を吸わされる受動喫煙も、虚血性心疾患、肺がんに加え、乳幼児の喘息や呼吸器感染症、乳幼児突然死症候群等の危険を高めると言われています。



□ 禁煙に挑戦!

禁煙外来等の支援を積極的に活用して、禁煙しましょう。

□ 支えあおう!禁煙!

毎月22日の「禁煙の日」などをきっかけに、禁煙しようとしている人を支援しましょう。

「禁煙の日」とは?

日本癌学会・日本心臓病学会・日本小児科学会・日本循環器学会等が参加する禁煙推進学術ネットワークが、平成22年2月22日に「スワンスワン(吸わん吸わん)で禁煙を!」をスローガンに制定した日。

数字の2を白鳥(スワン)に見立て、「吸わん吸わん(スワンスワン)」の毎月22日を多くの方々に喫煙の害と禁煙の大切さを知って行動していただく日としたものです。

白鳥が1羽でなく2羽であることは、喫煙者とその協力者(パートナー)がともに禁煙に取り組む姿勢を表しています。



□ 防ごう!受動喫煙

多くの人が利用する施設の管理者は、受動喫煙の防止を積極的に進めましょう。

市のとりくみ

- 喫煙や受動喫煙が健康に及ぼす影響に関する情報提供を進めます。特に、未成年者と妊産婦に対する普及啓発の充実を図ります。
 - ・「禁煙の日」(スワンスワンで禁煙を)の普及啓発を進めます。
 - ・学校での防煙と健康教育を進めます。
 - ・母子健康手帳交付の際、新生児・乳児訪問指導や乳幼児健康診査の際の普及啓発に努めます。
 - ・COPD(慢性閉塞性肺疾患)の認知度を高めます。
- 禁煙希望者への支援を進めます。
 - ・禁煙希望者へ喫煙や受動喫煙の害についての普及啓発に努めます。
 - ・禁煙外来等禁煙支援に関する情報提供を進めます。
- 受動喫煙の防止を進めます。
 - ・公共の場における受動喫煙の防止を進めます。
 - ・建物内全面禁煙施設の拡大を図ります。

これまでの経過と課題

成人の喫煙率

「健康に関する市民アンケート(平成23年度)」によると、成人の喫煙率は、男性25.7%、女性8.1%、全体で16.0%で、全国の男性38.2%、女性8.4%、全体で19.5%と比較して、いずれも低くなっています。平成13年からの10年間で、男性が42.7%から17.0ポイント減少、女性が13.4%から5.3ポイント、全体では26.2%から10.2ポイント減少しました。

未成年者・妊産婦の喫煙

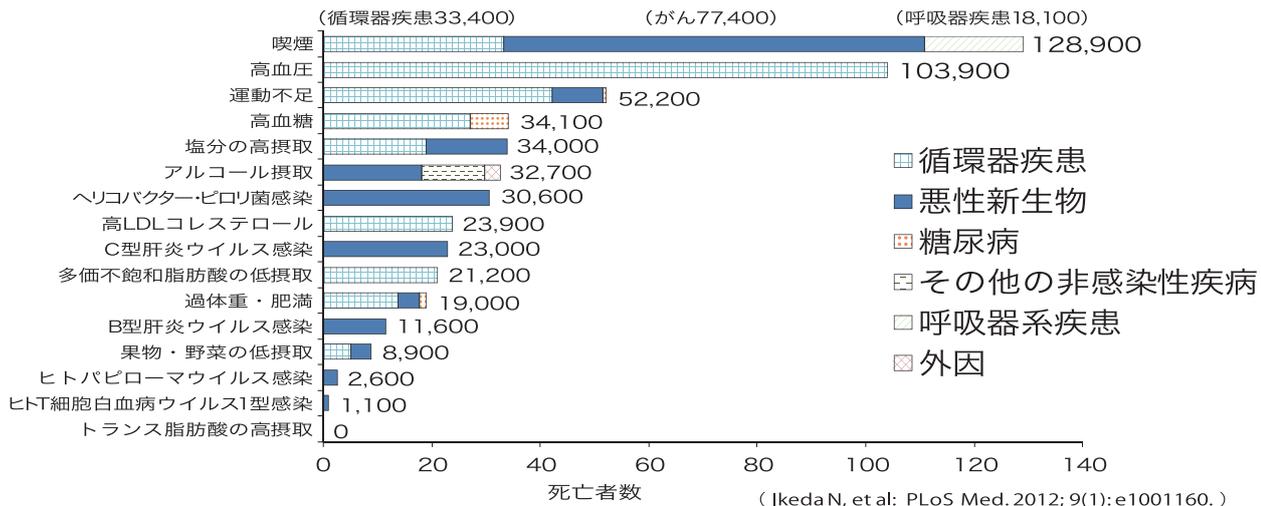
未成年者の喫煙は平成13年度に比べて、男性で14.9ポイント、女性で1.6ポイント減少しました。しかし、0%をめざして引き続き、未成年者への禁煙・防煙教育を充実することが必要です。

妊娠中の喫煙は、平成13年からの10年間で、9.0%から4.7%へ約半減しましたが、出産後の喫煙の再開防止を含め、禁煙の推進が必要です。

健康増進法の制定

数々の疾病の原因である喫煙の危険性を反映し、平成15年に施行された健康増進法では、「多数の者が利用する施設の管理者は受動喫煙の防止に努めなければならない」とされています。

わが国におけるリスク要因別の関連死亡者数—男女計(平成19年度)



健康コラム

知っていますか? COPD(慢性閉塞性肺疾患)

★別名『タバコ病』

COPDの原因の90%以上は喫煙です。たばこなどの刺激で気管支に炎症が起こり、ついには肺胞が破壊されることによって、呼吸がしにくくなります。喫煙開始の年齢が若いほど、また1日の喫煙本数が多いほどCOPDになりやすく、進行しやすいと言われています。

★症状がありふれているので、発見が遅れがち

階段の上り下りなど体を動かしたときに息切れを感じたり、風邪でもないのにせきやたんが続いたりすることがCOPDの主な症状です。ありふれた症状であるため、見過ごしてしまいがちでCOPD発見の遅れにつながります。

★死亡者数が増加傾向にあります！

平成23年のCOPDによる死亡者数は16,639人で増加傾向にあります。これまで、男性の喫煙率が高かったため、死亡数も男性の方が多いのですが、最近では女性の喫煙率が高くなりつつあるので、今後は女性の死亡率が増加すると考えられます。

(一般社団法人 GOLD 日本委員会資料)